

みずほCustomer Desk Report 2017/08/08 号(As of 2017/08/07)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	110.79 AUD/USD
TKY 9:00AM	110.82	1.1779	130.50	0.9726	1.3043	0.7928
SYD-NY High	110.92	1.1814	130.86	0.9746	1.3059	0.7949
SYD-NY Low	110.65	1.1771	130.40	0.9712	1.3014	0.7899
NY 5:00 PM	110.72	1.1796	130.63	0.9736	1.3035	0.7914
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	7.92/8.32		△25RR	0.825	Yen Call Over	
NY DOW	22,118.42	25.61	債券市場	日本2年債	-0.1030	0.4bp
NASDAQ	6,383.77	32.21		日本10年債	0.0720	0.7bp
S&P	2,480.91	4.08		米国2年債	1.3509	-
日経平均	20,055.89	103.56		米国5年債	1.8107	▲0.5bp
TOPIX	1,639.27	7.82		米国10年債	2.2530	▲0.9bp
シカゴ日経先物	20,055.00	10.00	為替市況	独10年債	0.4590	▲0.9bp
ロンドンFT	7,531.94	20.23		英10年債	1.1390	▲3.7bp
DAX	12,257.17	▲40.55		豪10年債	2.6200	-
ハンセン指数	27,690.36	127.68		USD/CNH	6.7313	▲0.0038
上海総合	3,279.46	17.38		ドルインデックス	93.43	▲0.11
USDJPY 3M Vol	8.61	▲0.22%	商品市況	CRB指数	180.971	0.29
USDJPY 6M Vol	8.89	▲0.17%		NY金	1,264.70	0.10
EURJPY 3M Vol	9.00	▲0.24%		WTI	49.39	▲0.19
EURJPY 6M Vol	9.33	▲0.16%		Dubai Spot	50.46	0.20

東京	先週末の良好な内容となった米7月雇用統計を背景に、週明けも底堅い推移が続く中、ドル円はオセアニア時間に高値110.85を付け、東京時間は110.82レベルでオープン。特段主だった材料に乏しい中でドル円はじり安の展開となり、昼にかけて一時東京時間安値となる110.65まで軟化する展開。日経平均がオープンから小幅レンジ内の横這い推移が続く中、引けにかけてのドル円も動意に乏しく横這い推移となり、結局110.68レベルで海外時間に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は110.68レベルでオープン。夏枯れ相場の中、狭いレンジ内の値動きとなり、110.84レベルでNYに渡った。ロンドンドルは1.3055レベルでオープン。英7月住宅価格指数が2017年で最高の伸び(結果0.4%、予想0.3%)を示したことで小幅に買われるも上値は限定的。1.3049レベルでNYに渡った。ユーロドルは1.1791レベルでオープン。先週末の米雇用統計を受けたドルの買い戻し基調が一巡し、ユーロは1.1814まで買い戻される。しかし、ユーロ圏8月投資家センチメント指数が27.7と7月の28.3から低下すると小緩み、1.1802レベルでNYに渡った。(ロンドン・トルフリー 00531 444 179 山本)
ニューヨーク	夏期休暇シーズン突入によりマーケットの流動性は乏しく、海外市場のドル円は110円台後半で膠着状態が続く110.84レベルでNYオープン。特段指標の発表もなく材料難の中、ドル円は米金利脱みの展開。朝方ドル円は110.92まで上昇したが、根強い供給過剰懸念に圧され下落するWTI原油相場を横目に米金利が低下したことから、110.70まで下落。その後、ロンドンフィックスにかけてユーロ円の買いが強まったことなどからドル円も連れ高となり、一旦は110.85まで回復。しかし、英欧金利低下を受けて米金利も低下する動きに、ドル円は再び110.70まで下落し、110.72レベルでクロスした。なお、カシュカリ・ミネアポリス連銀総裁(投票権あり)が「インフレが2%目標に達していないことは、重要な問題」「BS縮小は秩序立て進むだろう」、ブラッド・セントルイス連銀総裁(投票権なし)が「9月にBS縮小を開始する用意がある」「最善の政策は現行水準で金利を据え置くこと」などと発言したが、相場への影響は限定的であった。一方、ユーロドルは1.1802レベルでオープン後、材料難の中で1.17台後半まで下落。ロンドンフィッシングにかけては一旦1.1796まで反発したが、欧州金利が冴えない動きを見せると1.1782まで下落。その後は方向感なく推移し、1.1796レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 山下・西谷

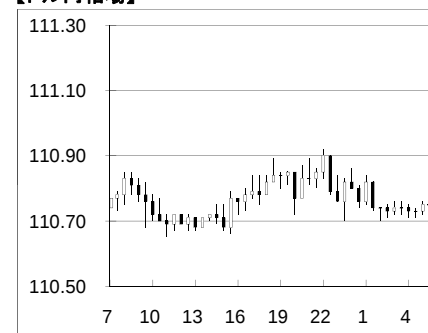
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
8月7日	15:00	独 鉱工業生産(前月比/前年比)	6月 -1.1%/2.4%	0.2%/3.7%
8月8日	0:45	米 ブラッド・セントルイス連銀総裁 講演	-	-
	2:25	米 カシュカリ・ミネアポリス連銀総裁 講演	-	-

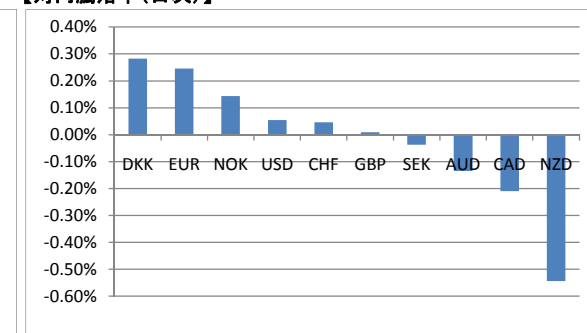
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
8月8日	8:50	日 経常収支/貿易収支	6月 ¥860.5B/¥571.5B	¥1653.9B/-¥115.1B
	-	中 貿易収支	7月 \$45.00B	\$42.75B
	15:00	独 貿易収支/経常収支	6月 €23.0B/€24.5B	€22.0B/€17.3B

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	110.20-111.20	1.1720-1.1870	130.00-131.00

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外市場は、夏休みシーズンで市場参加者も少なく、米主要経済指標の発表も無く、総じて小幅な動き。FEDカシュカリの最近のインフレーターは予想外に低い・インフレ率が目標に達していないことは重大とのコメントには、従来のハトスタンスの踏襲との見方で為替の反応は薄。ドル円は終始110円後半での推移となった。本日も主要米経済指標の発表も無く、金曜日の米CPIまでは動きづらい展開が続くものと考えられるが、北朝鮮が制裁に対して強く抗議をしていることから、何らかの動きを見せる可能性もあり、リスク回避方向への注意は必要。